

●方法論(80分)

「いまさら聞けない Stata を使った実証分析ワークショップ
－Stata を生かしきる省力化の技法と学生向け教育法－」

◎吉岡(小林)徹 (一橋大学 イノベーション研究センター 講師)

ワークショップ形式

[概要]

経営学を中心とする社会科学の研究において Stata は便利なツールですが、日本語のほどよい解説書が少なく、また、日本語でのユーザーコミュニティもあまり発展していないことから、Stata を使いこなすことは必ずしも容易ではありません。とくに `outreg2` など、サードパーティが提供する有益なパッケージもある中、その解説は親切なものが限られており、英語で調べても手探りになってしまっています。本ワークショップでは、研究上重要になる、以下の 3 つに焦点をあて、それぞれの Stata の使い方についての模擬講義と演習、参加者による対話を行い、Stata の効果的な使い方についてノウハウの共有を行います。「Stata 以外では人手ができる限りかけない技能」を参加者内で共有することを目指しています。

- ファイル読み込み、変数操作、記述統計などの基本操作
- パイチャート、積み上げグラフなどの作成
- 回帰分析とその結果のレポートティング、限界効果の可視化

Stata を使い始めた方にとっては演習の機会として、ある程度使っているがより省力化したいという方はノウハウ共有の場として、そして、使いこなしている方には学生向けの教育法を議論する場として活用いただければ幸いです。

[参加者へのメッセージ]

10月20日(日) 14:40～16:00 開催(D会場:1-304)

本ワークショップでは演習も合わせて行います。使い方を学びたいという方は、Stata がインストールされたモバイル PC を持参いただくとより効果的です。また、本ワークショップでブラッシュアップした講義資料は参加者内で共有し、講義やゼミでの指導に活用いただけるようにいたします。